

シネマズライフ

2012年7月20日発行 第20号 <http://p.booklog.jp/users/rion-takagi> 貴樹 諒音(たかぎ りおん)

映画の風景 日本の風景

埼玉県入間市さいたま緑の森博物館

「緑と美しい湖」は、人の造り出した重要な風景なのだろうと思うのだ。埼玉の緑の風景は、度々、宮崎監督の作品のモデルともなっている風景。それは、経験のない私達にも、何故か懐かしく感じてしまう。



さいたま緑の森博物館
「水鳥の池」

昔『天空の城ラピュタ』という映画があった…こんな映画だ。少し昔の時代。見習い機械工のバズーは、突然空から少女が落ちてくるのを目撃。急いで落ちていく場所に向かい少女を救う。少女の名前はシータ。草原の家に一人で住んでいたが、何者かに連れさられ飛行船に乗せられていたところ、空の海賊・ドーラー一味に襲われ飛行船から落ちたというのだ。シータも追いかけてはいる理由もはつきりわからない。しかし、下町を探しにきて、シータとバズーが見つけた茶園は、科学を疎視したラピュタの作つた緑の世界の美しい箱庭だ。大空に飛び出した彼らでも、緑の木々は人間の心と離れがたいものがあるのだろうか。

『天空の城ラピュタ』1986年 日本 監督・原作・脚本：宮崎駿 製作・高畑勲 声の出演：田中真弓 横沢西子 初井善英 寺田農 常田富士男 永井一郎
名作揃いの宮崎監督だが、この作品はエンターテインメントに徹している。声の出演として俳優の初井善英・寺田農・常田富士男を起用して成功している。

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！



『秋津温泉』

日本映画専門チャンネル

1982年 日本

監督 脚本：吉田喜重 原作 藤原審爾

衣装 岡田茉莉子

出演：岡田茉莉子 長門裕之

7月23日(月) 21:00 8月4日(土) 12:00
8月24日(金) 16:00

昭和20年・岡山県の山奥の秋津温泉《秋津荘》の娘・新子は病魔に苦しむ河本周作を自殺から救う。そこで終戦を迎え河本は、明るい新子に励まされ東京に帰っていく。三年後、再び療養の為秋津温泉に河本はやってきて、荒れた生活を送り、新子に自殺を迫るが逆に明るい新子に生きる希望を見いだされ再び、東京に帰っていく。

そして数年後、彼はまた秋津温泉を訪れるのだが…

戦後、日本はどん底から復興を遂げたように、河本が人生の転換期の度に秋津温泉を訪れ、新子のエネルギーを吸い取っていき新子は段々と疲弊していく。逆に河本は、日本の高度成長の波に乗り俗物となっていく様は、多くの美しさを無くしていく日本を重ね合わせる事ができ面白い。

主演の岡田茉莉子の出演100作目記念作品である。自ら製作に乗り出し、その気合が十分に伝わる映画である。

『バウンティフルへの旅』

ザ・シネマ

1985年 アメリカ

監督：ピーター・マスターソン 原作 脚本：ホートン・フット

出演：ジェラルディン・ベイジジョン・ハードレベッカ・デ・モーネイ

7月28日(金) 6:00

初老の時期を迎えたキャリアーは、ヒューストンで、息子・ルーディとそりの合わない息子の嫁・ジェシーと暮らしていた。生活も楽ではなく、一家はキャリアーの年金を頼りに暮らしていた。しかし、日に日に体の調子も悪くなり、キャリアーは故郷・バウンティフルを訪れる事を思い立つ。ある日、息子夫婦に黙って小銭をかき集め《バウンティフルへの旅》へ出発するが…

人生長く生きているときすべての日々が楽しいわけでもない。人はそんな時期にそれまでの楽しい日々を思い出す…。そんな人生のひとつこまを味わい深く描く。

1953年往年のスター・アメリカのリリアン・ギッシュ主演でテレビドラマとして放映され同じキャストで舞台化。そして、ジェラルディン・ベイジ主演で映画化され、アカデミー賞主演女優賞を受けた。

旅の途中に女性と意気投合するがすぐに別れなければならない、ままならない人生を感じてしまうのだ。

☆【最近のこれはお見事!】は、見事な映画の題名の紹介しませんが、これは、まずいぞ!は、これは、まずいぞ!と思ってしまう映画の題名を紹介しします。

☆ネットでも読めるミニコミ誌です!主に映画の紹介とコラムです。よろしかったら、コメントで感想をお叱りお聞かせください!よろしくお願ひします! m(_)_m 貴樹 諒音

※貴樹諒音※ cinemaz-life@movie.nifty.jp ※告知ブログ※ <http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/>

発行予定は8月のみ第二・四金曜日 m(_)_m 次回発行は2012年8月10日です。

【最近のこれはまずいぞ!】『崖っぷちの男』

ニューヨーク、ルイズベルトホテルの高層階から突然飛び降りようとする男が一人。さて、彼の目的は? いったい何をしたいのかうろたうというお話。映画は面白そうですが、題名がタサすぎます。

新婚旅行の為、パヴェルは、アテネからイタリアへ向かっていた。彼は船中のレストランで、ロマノという男と出会う。陽気なイタリア男の彼は、パヴェルの結婚の話の聞き、自分の《恋》の話を語り始める...

そこでロマノは、ロシアから来た貴婦人アンナと知り合う。言葉を変え、彼女に魅かれていき、ついだならぬ関係に...。その翌日、アンナは一つの手紙を残し帰郷してしまふ。だが、彼は彼女を忘れられず一大決心。「仕事」と偽りロシアへ。ついにアンナと再会し、愛を確認する。そして、ロマノはエリーザに別れを告げる為イタリアへ帰る...

「黒い瞳」

1988年 イタリア
監督: ニキータ・ミハルコフ

出演: マルチエロ・マストロヤニ
シルヴァーナ・マンガーノ エレナ・ソラオノーヴァ

25年。結婚して仕事をすするでなく、妻の資産を食いつぶしていた。しかしある日、エリーザの元に破産寸前の知らせが届く。逆上した彼女は、逆上した彼女は、逆上した彼女に当たり、彼は湯治場のモンテカティーニに逃げ出す。



イタリア・カプリ島の港
美しい海は悲しい愛の物語も聞いてくれる。

「少しだけ愚かであるという事」そんな人生の悲哀を感じさせてくれる映画なのだ。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema

貴重品の置き忘れにご注意ください

コラム
携帯をスマホに変えてみたら...?

スマホ生活18日。ようやく、アイコンの扱い方も慣れたかと思うと、やはり不便な事が多々ある事に気付く。

「なるほどねえ〜」って思ったのは、携帯には独自の機能がついていて、《いない機能・必要な機能》があるが、スマホでは《アプリ》とって、自分好みの《機能》をダウンロードして使える事だ。今頃何言ってるんのつつこまれても...、18日前に使い始めたんだからしかたがない。

アプリサイトに行けば、【無料】か【有料】か、ほしい《機能》があり、ダウンロードして使える訳だけど、すぐに100%気に入るアプリに出会うのは難しい。いろいろ探して未だにみつからないアプリもあったり、

びつたし気に入ったアプリがあったり...。A、ベストコンディションにもついでには、かなり時間がかかりそうです。

ポケットベルから、始まり携帯電話も数々の種類を遍歴して、そして今年にスマートフォン...、これで私もフツの日本人になりましたって感じ...。(笑)。



中はこうなっているのね...



はじめて写真だけじゃなく、JVCのカメラで撮った。

ほんにフツの日本人になるには、たいへんな事なのです。

※編集後記※
☆ ようやく梅雨も明けたと思ったら猛暑が続く。しかしここ数年の日本の気候は、熱帯の島のように、雨の激しく降る島になってしまったようだ。温暖化を主張する人もいれば、それはまったく関係ないって人もいる。原発事故と同じように、どの資料を信じていいのかからん状態...。

いずれにしても「金」が絡むと何事も透明感はない。しかも、アメリカのブッシュ政権(石油利権のオンパレードだった)以来、おっぴらに「金」が絡む政治の話も多く、日本の世界的な立場を危うくした鳩山元首相が、未だに政治に絡むのは、母親の巨額の資産のおかげだと言われている。日本では納得する人が多いが、世界的にはブッシュ政権と同じで非常みともない事だと思おうのである。

【最近のこれはお見事!】『時の重なる女』

世界三大映画祭「カンヌ」「ベルリン」「ベネチア」の話題作? を出品。で上映された。99年「ベネチア」で女優賞を取った作品。記憶を失った女性の行く末を描いた映画だそうです。

運営会社：株式会社paperboy&co.